



常に快適に使えるパソコンの メンテナンステクニック・(2)

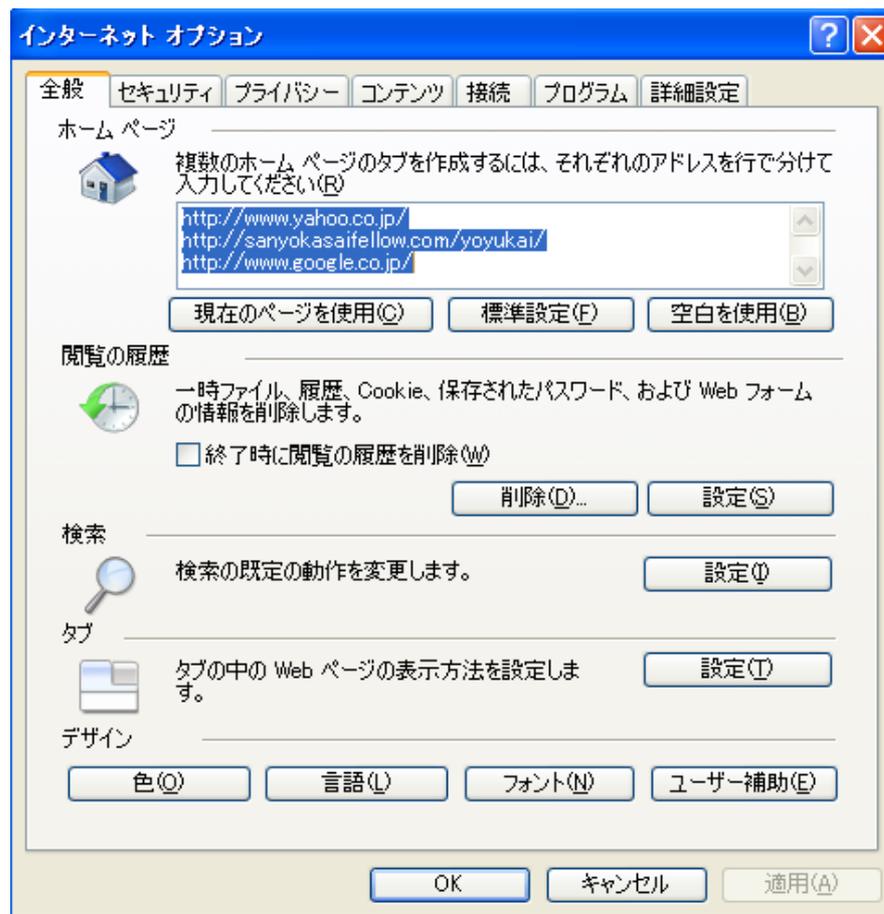
1. インターネットブラウジング関係のメンテナンス、

インターネットエクスプローラでメンテナンスするところは、**一時ファイル**です。この機能は「2回目以降の同じホームページの表示を早くすること」です。

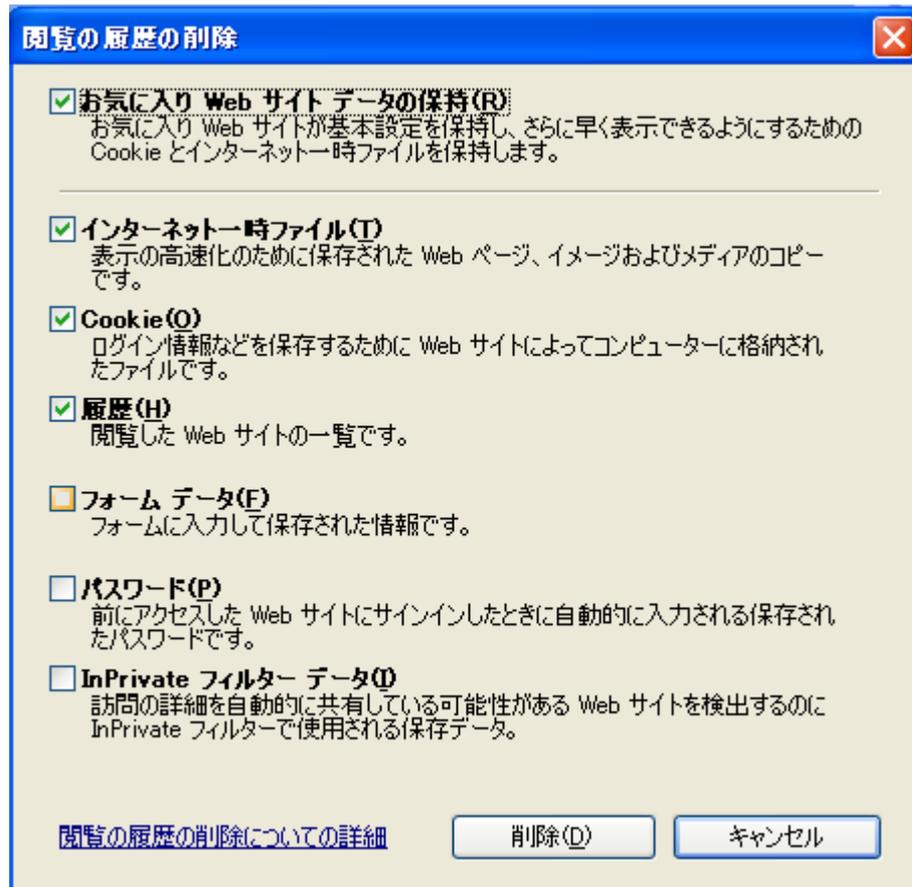
ただ、あまりに一時ファイルの数が多くなると逆に遅くなったり、**扱うファイル数が多くなればなるほどそのプログラムの動作が不安定になる**という原則により、動作が不安定になります。

その一時ファイルの削除方法は、まずインターネットエクスプローラを起動し、メニューバーの「ツール」の中にある「インターネットオプション」を選択します。

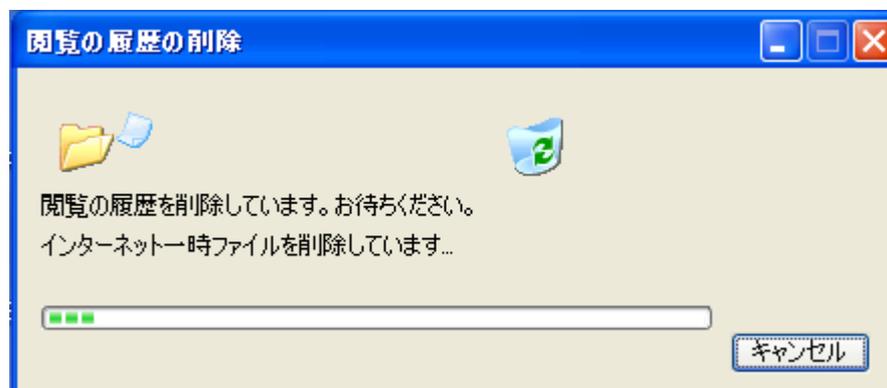
「インターネットオプション」画面の「全般」タブにある「インターネット一時ファイル」欄にある**閲覧の履歴で削除**をクリックします。



次の確認メッセージが表示されますので、削除条件をチェックして「削除」をクリックします。



下図のような画面で削除が始まります。



2. その他のファイルの整理

メーカー製の**プリインストール**パソコンには、OSの他にいろいろなおまけソフトが予めインストールされています。はじめはそれぞれを試してみても、ある程度使い慣れてくると「よく利用するソフト」と「全然使用しないソフト」に分かれてくると思います。また、試しにインストールしてみて何回か使ったけど、それ以降全然使わなくなっているフリーソフトなどがあると思います。

そんな通常は使わないソフトでも、**インストールされているだけで**、Windows の動作を不安定にする要素となります。そんなソフトは思い切って削除してしまいましょう。

ただ、ソフトの場合の削除については注意が必要です。それは、ほとんどの場合、**インストールしたフォルダだけを削除しても意味がない**だけでなく、ますます Windows の動作不安定を

招く場合もあります。

ソフトをインストールした場合、Cドライブなどの中にそのソフトの各ファイルがインストールされるのですが、それと同時に、レジストリにもそのインストール情報を格納する場合があります。そんなソフトを削除する場合は、そのレジストリ情報についても削除しておかないと、Windows自身は先にそのレジストリ情報を検索しますので、実際のファイルが削除されているので起動できない状態になってしまいます。

そのソフトの削除の仕方については、多くの場合は同じインストールフォルダの中に“**readme.txt**”や“**必ずお読み下さい**”などの名前でありますので、その内容を読めばわかります。「その内容が難しくてよくわからない！」という方は、以下の手順で確認してみてください。

1. 「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を確認する。

スタートボタンを押すと、その中に、その中に「**コントロールパネル**」が表示されますので選択します。「コントロールパネル」画面が表示されますので、その中にある「**プログラムの追加と削除**」をダブルクリックし、「プログラムの追加と削除プロパティ」画面が表示されます。その中の「セットアップと削除」タブの下側に、**パソコンにインストールされているソフト**の名前が表示されています。



この表示されたリストの中から、**使わないソフト**を削除します。



以下次号に続きます